



# 令和5年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和4年11月11日

上場会社名 株式会社 ハーバー研究所  
コード番号 4925 URL <https://www.haba.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮崎 一成

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務・経理部担当

(氏名) 梅蔭 武

TEL 03-5296-6250

四半期報告書提出予定日 令和4年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 証券アナリスト・機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和5年3月期第2四半期の連結業績(令和4年4月1日～令和4年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期第2四半期	5,652	5.5	346		324		230	
4年3月期第2四半期	5,984		568		568		464	

(注) 包括利益 5年3月期第2四半期 228百万円 ( %) 4年3月期第2四半期 462百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年3月期第2四半期	61.02	
4年3月期第2四半期	122.83	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、令和4年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載していません。

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
5年3月期第2四半期	15,213		11,257		74.0
4年3月期	15,685		11,637		74.2

(参考) 自己資本 5年3月期第2四半期 11,257百万円 4年3月期 11,637百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
4年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期		0.00		40.00	40.00
5年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和5年3月期の連結業績予想(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,100	9.2	160		190		130		34.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	5年3月期2Q	3,935,000 株	4年3月期	3,935,000 株
期末自己株式数	5年3月期2Q	153,481 株	4年3月期	153,481 株
期中平均株式数(四半期累計)	5年3月期2Q	3,781,519 株	4年3月期2Q	3,781,547 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(追加情報) .....	9
(四半期連結損益計算書関係) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動規制が緩和され、経済活動の正常化が期待されておりました。しかしながら、令和4年7月に新型コロナウイルス感染症（第7波）が急激に拡大した事に加え、ウクライナ情勢に伴う資源、エネルギーの価格上昇及び急速な円安の進行による物価高騰並びに世界的な金融の引き締め等により、景気の先行きは以前にも増して不透明な状況となっております。

国内化粧品市場においては、行動規制の緩和等により穏やかな回復が見られたものの、食料品、日用品をはじめとした生活必需品等の値上げにより、これらへの消費が優先され、化粧品への消費が差し控えられ厳しい環境が続きました。当社グループにおいても人流の増加に伴い、直営店、国内その他卸売で前年同四半期比では回復が見られたものの、通信販売においては、新規客獲得数及び既存顧客の購入頻度の減少により前年同四半期を下回りました。また、海外市場においては、主要マーケットである中国のロックダウンが解除となりましたが、その後も厳格な移動制限等、ゼロコロナ政策の継続により経済活動の正常化が進まず、当社グループにおいても現地での販売活動の回復に遅れが生じており厳しい環境となっております。

当社グループにおいては、当事業年度よりスタートした中期経営計画（令和4年～令和6年）に基づき、「持続的成長と企業価値向上に向けた収益基盤の構築」の期間と位置付け、取組みを開始しております。基本戦略の下、ブランド認知度向上に向けて国内ではインフルエンサーを起用したWEB動画広告を展開すると共に、令和4年10月より放映開始する新TVCM、WEB動画を制作、また、海外では中国版TikTokに公式アカウント及びブランド旗艦店を開設し、ライブコマースを実施する等、認知度向上及び新たなファンの獲得と育成に向けて取組んでおります。またオンライン、オフライン両面でのサービスにおいて、令和4年11月より開始する通信販売と店舗（ショップハーバー）における当社ポイントサービスの統一化の他、オンライン美容講座を全国の顧客を対象に毎月開催する等、利便性の向上及び顧客接点の拡充を図る事により、ロイヤルティ向上につながる取組みを進めております。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間の当社グループ連結売上高は、5,652,567千円（前年同四半期比5.5%減）となりました。

品目別売上上の基礎化粧品は3,891,403千円（同5.9%減）、メイクアップ化粧品は382,836千円（同3.4%減）、トイレタリーは277,070千円（同17.2%増）、栄養補助食品・雑貨等は1,081,671千円（同1.7%減）となりました。

販売ルート別売上では、通信販売（EC含む）が3,291,425千円（同2.0%減）、百貨店向卸売は458,890千円（同6.0%減）、その他卸売1,649,236千円（同14.8%減）、直営店252,995千円（同26.6%増）となりました。

売上原価は、1,744,860千円（同11.4%減）となりました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝・販売促進費が1,451,955千円（同12.3%減）、その他経費が2,802,421千円（同4.3%減）、合計で4,254,376千円（同7.2%減）となりました。

これらの結果、営業損失は346,669千円（前年同四半期は営業損失568,334千円）、経常損失は324,420千円（前年同四半期は経常損失568,014千円）、法人税等調整額△118,556千円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は230,748千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失464,481千円）となっております。

品目別売上

（単位：千円）

区分	前第2四半期連結累計期間 （自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日）		当第2四半期連結累計期間 （自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日）		増減額	増減率	
	金額	構成比	金額	構成比			
化粧品	基礎化粧品	4,133,949	69.1	3,891,403	68.8	△242,545	△5.9
	メイクアップ化粧品	396,250	6.6	382,836	6.8	△13,414	△3.4
	トイレタリー	236,445	3.9	277,070	4.9	40,624	17.2
	その他（注）1	117,199	2.0	19,565	0.4	△97,634	△83.3
	小計	4,883,845	81.6	4,570,876	80.9	△312,968	△6.4
栄養補助食品・雑貨等	1,100,497	18.4	1,081,671	19.1	△18,825	△1.7	
化粧品・栄養補助食品等 小計	5,984,342	100.0	5,652,547	100.0	△331,794	△5.5	
その他（注）2	1	0.0	19	0.0	18	—	
合計	5,984,343	100.0	5,652,567	100.0	△331,776	△5.5	

（注）1. 期間を限定して提供するキャンペーンセット品等が主なものです。

2. カルチャーセンター等の売上が主なものです。

販売ルート別売上

(単位：千円)

区分		前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
販売 ルート	通信販売（EC含む）	3,359,670	56.1	3,291,425	58.2	△68,245	△2.0
	百貨店向卸売	488,401	8.2	458,890	8.1	△29,510	△6.0
	その他卸売	1,936,353	32.4	1,649,236	29.2	△287,117	△14.8
	直営店	199,917	3.3	252,995	4.5	53,077	26.6
	合計	5,984,342	100.0	5,652,547	100.0	△331,794	△5.5

(注) 上記の合計表は、「品目別売上」の「化粧品・栄養補助食品等 小計」売上に対して記載しています。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比較して349,586千円減少し、9,722,331千円となりました。これは主に、仕掛品、原材料及び貯蔵品が増加したものの現金及び預金、売掛金が減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比較して122,098千円減少し、5,491,418千円となりました。これは主に、有形固定資産及びソフトウェアが減価償却により減少したことによるものです。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比較して116,944千円増加し、2,648,704千円となりました。これは主に、短期借入金が減少したものの、買掛金及び未払金が増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比較して208,726千円減少し、1,307,280千円となりました。これは主に、長期借入金が減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比較して379,903千円減少し、11,257,765千円となりました。これは主に、利益剰余金が減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」）は、前連結会計年度末に比較して403,352千円減少し、5,247,937千円になりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、95,277千円の収入（前年同四半期は960,287千円の収入）となりました。これは主に、減価償却費277,071千円、売上債権の減少173,580千円、仕入債務の増加147,215千円、助成金の受取額53,009千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、35,396千円の支出（前年同四半期は90,012千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出63,322千円、差入保証金の回収による収入45,769千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、465,841千円の支出（前年同四半期は1,037,790千円の支出）となりました。これは長期借入れによる収入200,000千円、短期借入金の純減少額100,000千円、長期借入金の返済414,770千円及び配当金の支払額151,071千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和5年3月期の業績予想につきましては、令和4年5月11日に公表しました連結業績予想に変更はありません。なお、新型コロナウイルス感染症による影響は不確実性が高いため、収束状況により連結業績予想を修正する必要が生じた場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和4年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,651,289	5,247,937
売掛金	1,146,837	990,569
商品及び製品	1,284,378	1,268,436
仕掛品	28,542	81,728
原材料及び貯蔵品	1,838,397	1,910,449
その他	143,451	240,468
貸倒引当金	△20,979	△17,259
流動資産合計	10,071,917	9,722,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,018,559	5,036,906
減価償却累計額	△2,527,508	△2,607,268
建物及び構築物 (純額)	2,491,051	2,429,637
機械装置及び運搬具	1,991,947	2,010,972
減価償却累計額	△1,594,598	△1,659,578
機械装置及び運搬具 (純額)	397,348	351,394
工具、器具及び備品	1,222,773	1,240,879
減価償却累計額	△1,028,938	△1,062,806
工具、器具及び備品 (純額)	193,834	178,073
土地	1,573,134	1,573,134
有形固定資産合計	4,655,369	4,532,240
無形固定資産		
ソフトウェア	320,081	250,895
その他	26,102	19,704
無形固定資産合計	346,183	270,600
投資その他の資産		
投資有価証券	6,452	5,713
繰延税金資産	234,846	352,267
差入保証金	333,168	295,618
その他	37,497	34,977
投資その他の資産合計	611,964	688,577
固定資産合計	5,613,517	5,491,418
資産合計	15,685,434	15,213,749

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和4年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	336,159	483,374
短期借入金	300,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	785,040	787,349
未払金	668,715	729,921
未払法人税等	31,234	57,003
未払消費税等	92,112	9,510
契約負債	204,422	252,186
その他	114,075	129,358
流動負債合計	2,531,759	2,648,704
固定負債		
長期借入金	1,472,843	1,255,764
その他	43,163	51,516
固定負債合計	1,516,006	1,307,280
負債合計	4,047,766	3,955,984
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	696,450	696,450
資本剰余金	812,570	812,570
利益剰余金	11,257,819	10,875,810
自己株式	△1,135,943	△1,135,943
株主資本合計	11,630,896	11,248,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,462	949
為替換算調整勘定	5,310	7,928
その他の包括利益累計額合計	6,772	8,878
純資産合計	11,637,668	11,257,765
負債純資産合計	15,685,434	15,213,749

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)
売上高	5,984,343	5,652,567
売上原価	1,969,462	1,744,860
売上総利益	4,014,880	3,907,706
販売費及び一般管理費	4,583,215	4,254,376
営業損失(△)	△568,334	△346,669
営業外収益		
受取利息	25	27
受取配当金	84	98
受取賃貸料	414	414
還付加算金	1,915	128
助成金収入	※1 570	※1 23,090
その他	2,036	2,619
営業外収益合計	5,047	26,379
営業外費用		
支払利息	3,833	3,128
その他	893	1,001
営業外費用合計	4,727	4,129
経常損失(△)	△568,014	△324,420
特別利益		
固定資産売却益	1,973	—
助成金収入	※1 89,050	※1 20,428
特別利益合計	91,023	20,428
特別損失		
固定資産除却損	12,077	84
臨時休業による損失	※2 28,620	—
特別損失合計	40,697	84
税金等調整前四半期純損失(△)	△517,688	△304,075
法人税、住民税及び事業税	△10,892	45,229
法人税等調整額	△42,314	△118,556
法人税等合計	△53,206	△73,327
四半期純損失(△)	△464,481	△230,748
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△464,481	△230,748



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)
四半期純損失(△)	△464,481	△230,748
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	311	△512
為替換算調整勘定	1,497	2,618
その他の包括利益合計	1,809	2,105
四半期包括利益	△462,672	△228,642
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△462,672	△228,642
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△517,688	△304,075
減価償却費	382,785	277,071
引当金の増減額 (△は減少)	△16,292	△3,719
受取利息及び受取配当金	△110	△126
助成金収入	△89,050	△43,518
支払利息	3,833	3,128
固定資産売却損益 (△は益)	△1,973	—
固定資産除却損	12,077	84
臨時休業による損失	28,620	—
売上債権の増減額 (△は増加)	507,241	173,580
棚卸資産の増減額 (△は増加)	359,961	△109,296
仕入債務の増減額 (△は減少)	90,369	147,215
未払債務の増減額 (△は減少)	10,714	62,675
未払又は未収消費税等の増減額	5,445	△89,620
その他	△66,637	△82,973
小計	709,296	30,424
利息及び配当金の受取額	110	126
利息の支払額	△3,192	△2,776
法人税等の支払額	△22,691	△19,173
法人税等の還付額	219,841	33,667
助成金の受取額	83,774	53,009
臨時休業による支出	△26,852	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	960,287	95,277
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△53,932	△63,322
無形固定資産の取得による支出	△9,360	△4,171
有形固定資産の売却による収入	8,333	—
資産除去債務の履行による支出	△29,700	—
長期前払費用の取得による支出	△8,350	△4,472
差入保証金の差入による支出	—	△9,199
差入保証金の回収による収入	2,998	45,769
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,012	△35,396
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△800,000	△100,000
長期借入れによる収入	400,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△486,920	△414,770
配当金の支払額	△150,870	△151,071
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,037,790	△465,841
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,497	2,608
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△166,017	△403,352
現金及び現金同等物の期首残高	5,663,626	5,651,289
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,497,608	5,247,937

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

一部の連結子会社においては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 令和3年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（追加情報）

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症（第7波）により感染者が一時急拡大しましたが、その後は減少傾向が見られております。アフターコロナを見据え、穏やかに回復するとの仮定を置き会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響は依然として不確実性があることから、経済環境等への影響により、当社グループの事業環境に変化が生じた場合には、将来において損失が発生する場合があります。

（四半期連結損益計算書関係）

※1 助成金収入

営業外収益に計上されている助成金は小諸市工場等立地促進助成金等であり、特別利益に計上されている助成金収入は雇用調整助成金（新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例）等であります。

※2 臨時休業による損失

新型コロナウイルス感染症に対する政府、地方自治体からの各種要請等により、百貨店、ショッピングセンター等の臨時休業が行われております。これに伴う店舗の臨時休業期間中に発生した固定費（人件費、減価償却費等）を特別損失として計上しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自令和3年4月1日 至令和3年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自令和4年4月1日 至令和4年9月30日）

当社グループは、化粧品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。